

令和元年度(平成30年度実績) 総合評価書 <施設名 本土児童館>

1 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2 指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関する事。 2 児童館の維持管理に関する事。 3 目的外使用許可にかかる事務に関する事。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関する事。 5 事業評価に関する事。

4 採点表									
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
1 運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:5点、 105%未満～95%:4点、 95%未満～85%:3点、 85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		開館時間中(10:00～18:00)、自由来館となっている。	-	
		②利用人数		平均値比(注) 105%以上:5点、 105%未満～95%:4点、 95%未満～85%:3点、 85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95%4点	平成28年度 乳幼児 3,163人、小学生 2,879人、中高生 131人、大人 3,400人 来館者数 9,573人 平成29年度 乳幼児 2,572人、小学生 3,827人、中高生 56人、大人 2,984人 来館者数 9,439人 平成30年度 乳幼児 2,694人、小学生 3,544人、中高生 121人、大人 3,214人 来館者数 9,573人 前年度より来館者数が若干増加した。幼稚園帰りの遊びに来る子向けに、クッキングや工作を行い遊びに来やすい雰囲気作りを心掛けている。 0歳児クラブのPRを他団体とも協力して実施。	8点	
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児対象事業(計64回開催、延べ1,178名参加) ・児童対象事業(計97回開催、延べ1,278名参加) ・多世代間交流事業(計6回開催、延べ574名参加) ・中高生事業(計6回開催、延べ41名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計27回開催、延べ332名) ※別紙:事業報告書 参照	仕様書以上 13点	・仕様書の事業をすべて目標回数以上実施した。 ・月1～2回母親クラブの行事を実施。 ・地域や他団体と連携を図り取り組んで実施している。 ・小学生クラブの需要が高く、「チャレンジキッズクラブ」はクラスを増やして対応し、希望者を多数受け入れた。	13点		
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点 例年通り:11～9点、 例年よりやや劣る:8～7点、 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児対象事業(計50回開催、延べ650名参加) ・児童対象事業(計58回開催、延べ480名参加) ・多世代間交流事業(計64回開催、延べ955名参加) ・中高生事業(計3回開催、延べ53名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計4回開催、延べ29名) ※別紙:事業報告書 参照	期待以上 14点	・社会福祉協議会の特性を活かした自主事業を実施。 ・地域特性を活かした事業を多数実施。 ・地域行事に参加し、高齢者との交流など多世代交流に積極的に取り組んだ。希望のあった施設には訪問回数を増やすなどニーズに対応。 ・近隣の施設との交流を積極的に実施している。 ・施設の複合化に向け、新規に精華公民館での移動児童館や共催事業など積極的に実施した。 ・30年度は子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進においても事業を実施。	14点			

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	・通常清掃:日常清掃 ・駐車場清掃実施、屋上清掃を年2回実施 ・マットクリーニング年1回実施 電気工作物、運動器具の点検は、業務委託により実施。	適正(普通)2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検				適正(普通)2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			・非常通報装置消防用設備の保安点検は委託により実施 ・夜間館内警備については委託により実施	適正(普通)2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			①一輪車修理 2,738円 ②床隙間、傷補修 随時職員が補修 ③入り口付近修繕 随時職員が修繕、①については、10万円未満のため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕。	適正(普通)2点	・修繕が発生した際は、遅滞なく対応している。 ・床のささくれ、削れやコンクリート剥き出し部分など日常修繕している。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・毎月1回職員による安全点検、業者による遊具の点検実施 ・児童館の傷みも激しいため、日常業務の中で危険箇所を把握し対処している	適正(普通)2点	適正に実施されている。	
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	文書目録に基き管理している。	適正(普通)2点	文書目録に基き適正に管理されている。	10点
			②環境への配慮			・多治見市の環境方針に準じ対応 ・飲食を伴う行事の際は、箸やお碗を持参してもらうなど、廃棄に配慮している。 ・使用済みの封筒の使用、個人情報に注意し、裏紙の再利用、Eメールでの対応、資源ごみのリサイクル実施に配慮している。 ・冷暖房の使用時は適正温度に設定し、環境に配慮している。 ・プールの水で打ち水をし、暑さ対策をしている。雨水を花壇などに利用している。 ・工作材料は牛乳パック、ペットボトル等再利用に心掛け実施している。 ・昼休み時消灯に努めている。	適正(普通)2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			・床のささくれ、削れ、隙間部分を転倒防止のため随時修繕 ・館庭の樹の伐採などを年数回行い、通行や安全に考慮。 ・福祉体験を行うことによる啓蒙活動	適正(普通)2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			備品台帳に沿って管理している。	適正(普通)2点	適正に管理されている。	
			⑤個人情報保護			・社会福祉協議会として「個人情報保護管理規程」を制定し、適正に管理。 ・重要な書類は、鍵のかかるキャビネットで保管している。	適正(普通)2点	適正に管理されている。	
			⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等の対応に不備あり:△1点	特になし	
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	指定管理委託料の範囲内で適正に事業が行われた。 10,781,350÷8,512,862=126.6%	105%以上5点	・指定管理委託料内の範囲内で適正に事業が行われた。 ・職員配置に伴う人件費により、黒字となった。	5点	

評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、 適正(普通):7～5点、 不備あり:4～1点	・アンケートボックスを設置して随時、意見を受け付けるとともに、クラブ・行事等後にその都度アンケートを実施している。 ・行事、クラブでのアンケートより希望の多かった座談会や散歩、リミックなどの回数を増やしたり、継続した。 ・少数意見も取り入れ、希望に沿うよう配慮している。	期待以上 9点	・乳幼児クラブ及び自由参加型事業では、アンケートや要望を聞き、次年度に取り込むことで対応している。 ・年々増加している小学生クラブ全般の希望者のため、クラブの増設に取り組むことに対応。 ・大人数に対応するための環境作りに取り組んだ。	9点		
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし	苦情なし・ 適正(普通) 4点	社会福祉協議会として、苦情申出窓口を設置し、苦情対応責任者、苦情受付担当者、第3者委員を設置している。	4点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・公民館との共催事業や移動児童館などを取り入れた。 ・母親クラブが円滑に行えるよう支援をした。 ・他館との連携事業も多く、館同士の交流も盛んに行っている。 ・社会福祉協議会の特性を活かし総合福祉センター内障がい者福祉センター、母子福祉センターとの交流事業を実施した。 ・児童館共催事業を実施し、校区外の親子の交流を図っている。 ・講師を招いて実技研修(工作・一輪車・防犯訓練・AED・支援児について)、職員研修(社協全体研修・東濃ブロック研修・各館持ち寄り体操や作品交流研修)を実施した。 ・毎月1回 代表者会議、年2回 常勤会議を実施し、各館との交流・ヒアリングなど周知している。 ・館内、館外の整備(猫の糞害、遊戯室の床修繕など)を行い、環境整備を図った。	期待以上 14点	・一輪車クラブ入会者が大勢の人数でも安全に活動できるよう遊戯室の道具の配置に考慮した。 ・施設の構造上、運動遊びをしづらい環境にあるが、切り絵、工作など月数回設定し室内遊びを充実させている。 ・職員研修を通して、個々の資質や事業運営のスキル向上を図っている。 ・発達支援センター研修は乳幼児クラブに生かされ職員のスキルアップに繋がっている。 ・母親クラブの活動が円滑に行えるよう支援をした。 ・30年度は子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進においても事業を実施。	14点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし	遅れ・ 不備 なし 減点 なし	適正に実施した。	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・ 対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施した。	0点		
合計		100	【4段階評価】 極めて良好100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下					全体的な評価 ・事業内容にも工夫が見られ地域連携も良好な点を評価。 ・複合化に向け、公民館交流を積極的に実施した点を評価。 ・新規で子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進での自主事業実施を評価。		87点	極めて 良好